

## 上級学校訪問をしよう

先日提出してもらった進路希望調査の中で、『どんな上級学校があるのかよくわからなくて…』とか『自分にはどんな上級学校があっているのか考えています』といった疑問点も多く出されたようです。そこで、百聞は一見にしかずとも言います、この機会に、上級学校を訪問し、見学してきましょう。夏休みを挟んだ、7月～9月の間はいろいろな上級学校をどんどん見学して、自分の目と耳で感じ取ってくるのが、最も良い情報収集だと思います。兄弟や親戚・知っている先輩が進学した学校、部活の大会の補助役員などに在校生が応援に来てくれる学校、そんなところからスタートすると、見学しやすいかもしれません。まずは、夏休み中に1校以上見学してきましょう。

◎時期：本日～8月26日(木)

◎大原則：上記期間は、ほとんどが緊急事態宣言下の時期であるため、上級学校を直接訪問する場合はマスクの着用を始めとする感染対策を充分に行って出かけることとする。また、必ずしも直接上級学校へ足を運ぶのではなく、オンラインの説明会などへの参加も可とする。

◎方法

- 1, 進路学習時に配付した資料や、紹介したパンフレット(『東京都立学校に入学を希望する皆さんへ』『V サポート』『東京都内私立学校案内』など)、廊下に掲示してあるポスターなどを参考に、訪問する学校(自分の家から近い学校、現在興味のある学校など、訪問校を決める条件は特に指定しませんが、現時点で、『志望校』が定まっている人は、その学校が良いでしょう)と見学日を決める。
  - ※1, 学校説明会などを上級学校側で企画している場合は、その日に見学するのが、最も詳しく説明してもらえます。
  - ※2, 学校説明会当日に保護者向けの話がある場合もあります、また、初めて出かける場所でもあるかとも思われますので、できるだけ保護者の方も一緒に訪問するといいかと思います。
- 2, それぞれの学校に電話で連絡を入れ、学校訪問をしたい旨を伝える。
 

『(ほとんどの学校は、最初に事務の先生が電話をとります。)こちらは、国上市立国立第三中学校の三年生ですが、夏休みの期間に見学に行きたいので、担当の先生につないで下さい。』

『(副校長先生(教頭先生)か、入試担当の先生につながります。もう一度名乗った後に以下のように話しましょう。)△月◇日に、(母親と一緒に：一緒に見学に行く人が居たら、それも告げる)見学に行きたいのですが、よろしいでしょうか。』

  - ※3, この時、中学校を通して申し込むようにと指示される場合もありますから、その時は、担任の先生または渡邊先生に申し出て下さい。

『(OKをいただいたら)それでは、△月◇日に、よろしくお願ひします。(電話を切る。)]』

『(断られたら)それでは、次の機会がありましたら、よろしくお願ひします。(電話を切る。)]』
- 3, 上級学校側からOKの返事もらったら、『いつ、何という学校に、だれと一緒に』見学に行くのかを必ずメモに書いて当日まで保管する。
- 4, 見学前に、『上級学校訪問報告レポート用紙(空色の紙)』のプリントに必要事項を記入しながら、交通経路などを確認し、訪問校の先生に質問する事柄などを考えておく。この時、上記『方法1』で述べた資料類も参考にするとよい。
- 5, 見学は、約束した時間に遅れずに標準服で訪問すること。校門を入ったら、まず玄関横(学校によっては校門横)の受付で、学校訪問に来たことを告げ、訪問校の先生の指示を受ける。なお、三中生としてのマナー言葉遣いなど注意すること。
  - ※4, 訪問先は授業中(夏期講習中)である場合も考えられます。くれぐれも静粛に。家を出てから、家に帰るまで、事故などにはくれぐれも気をつけましょう。
- 6, 見学後は、速やかに『上級学校訪問報告レポート用紙(空色の紙)』に見学内容を記入し、
 

**8月27日(金)：二学期始業式の日**

に担任の先生に提出する。
- 7, 『上級学校訪問報告レポート用紙』の内容は、「教育方針」「特色」「入試について」「規則・服装」「授業の特色」「学校行事」「部活動」「生徒会活動」「卒業後の生徒の進路」「生徒の様子」等の質問事項を中心に、各自工夫する。